

大学名等	東北大学大学院医学系研究科
教育プログラム・コース名	希少がん・難治がんISTUコース（インテンシブコース）（テーマ①）
対象職種・分野	医師、看護師、薬剤師、検査技師、MSW、がん相談室相談員など
修業年限（期間）	1年
養成すべき人材像	地域のがん診療連携拠点病院等に勤務し、希少がん・難治がん診療に携わる医療従事者（医師、看護師、薬剤師、検査技師など）が、希少がん・難治がん医療について理解を深め、希少がん・難治がん患者に対応出来る能力を身につける。
修了要件・履修方法	希少がん、難治がん対策に必要なカンファレンス講義（別途指定）を6講義以上受講する。また、がんプロ主催の講義、セミナーの受講可能とする。
履修科目等	<必修科目> がんプロ合同セミナー（希少がん難治がんカンファレンス、最低6回/年参加） <後述のがんプロ主催の講義、セミナーを履修可能> <u>臨床腫瘍学特論Ⅰ、Ⅱ*</u>、<u>臓器別臨床腫瘍学特論</u>、<u>腫瘍関連学際領域特論</u>、<u>次世代腫瘍予防学特論</u>、<u>臨床腫瘍研究開発学特論</u>、<u>がんプロ合同セミナー#</u>。*ゲノム医療、希少がん、小児がん、次世代腫瘍予防、腫瘍研究開発に対応、#遺伝子診療部教育セミナー、がんセミナー等を含む。
がんに関する専門資格との連携	がん薬物療法専門医やがん専門看護師など、がん関連専門資格を取得済・あるいはこれから取得する人を対象とするが、専門資格との連携はない
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	希少がん・難治がんを診療できる医師、看護師、薬剤師、MSW、がん相談室員などは、地域医療を充足できるほどにはまだ養成されていない。地域の患者に希少がん・難治がんを提供する体制を迅速に整備する必要がある。本プランに関連する地域のがん診療連携拠点病院等の医療従事者がインターネットを通じて効率的に基礎知識を習得できるe-learningコースを提供する。
指導体制	【東北大学】 臨床腫瘍学分野および腫瘍内科の教員5～6名
修了者の進路・キャリアパス	がん診療連携拠点病院において、希少がん・難治がん診療での画像診断、病理診断、多診療科間連携を通じた集学的治療方針の決定、などに関する基礎・応用知識を習得する